

小学1年生から C A Y X Z B

英語の授業を行っています

今年度、神埼市内7小学校の1～4年生で、年間を通した英語活動を実施しています。これによって、小学校5・6年生の外国語活動と併せ、小学校の全ての学年で週1回1時間の英語の授業（英語活動・外国語活動）が実現しました。さらに、中学校の外国語と併せて、小中連携した9年間の繋がりのある英語教育を行うことができます。

さて、21世紀の期間をまるまる生きていく子どもたち。この変化の激しい社会の中で、たくましく生き抜くことのできる子どもを育てるためには、これから子どもたちにとんな力を付けさせる必要があるのでしょうか。神埼市教育委員会では、教育の重点目標に「21世紀の生活者を育成する教育の推進」を掲げ、その1つとして急速にグローバル化する社会の中において、ますます重要視されているコミュニケーション能力としての英語教育の充実に力を入れています。



平成23年度からは、小学校で新学習指導要領が全面实施され、5・6年生で年間35単位時間の「外国語活動」が必修化されました。英語に慣れ親しむ活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成してコミュニケーション能力の基

礎を養うことが目標です。中学校からは、小学校での英語活動が始まってから、「中学校で英語に抵抗を感じる生徒が減った」などの声があるなど成果を得ています。

1～4年生の授業では、講師が歌やゲームなどを多く盛り込んだ音声中心の活動を指導しています。年齢が低いほど音声を真似る耳の良さがあり、聞いたことを先入観なく、素直に自分の音声として発音することができると言われます。より早い段階で子どもたちに英語に慣れさせ、英語を聞く力や話す力の基礎を楽しみながら育てていくことが目的です。

子どもたちからは「毎月の英語活動が楽しみ」といった声が聞かれています。

◎問い合わせ先

神埼市教育委員会

学校教育課

☎ 44-12384

「きずな」サポートファイルの紹介



「子どもの成長の様子が気になる」「他の子どもと少し違うのだろうか」などの思いや、発達障害等の障害のあるお子様をもつ保護者の方で、学校や園、または担任の先生が変わるたびに、お子さんの特徴やそれまで受けてきた支援の内容を説明しなくてはならず、また説明しても内容が

十分に伝えられない、その後の支援に反映されないなどお困りの方はいらっしゃいませんか。

神埼市教育委員会では、そうしたお悩みを少しでも解消し、幼児期から成人に至るまでの各成長段階において、一貫したよりよい支援を受けられるよう、サポートファイル「きずな」を作成し、御希望の保護者の方に提供しています。その特色は次のとおりです。

【特色】

- ①各成長段階でのお子様の状況や様々な機関で受けた支援内容などを書き綴ったり、渡された資料を整理したりすることが出来ます。
- ②引き継いだ関係機関に提示することで、お子様の情報を簡易に正確に次の関係機関へ引き継いでいくことが出来ます。
- ③関係機関も保護者への情報提供がしやすくなり、保護者がお子さんとのより良い関わり方を発見しやすくなります。
- ④成長の過程を振り返ることが出来ます。
- ⑤将来のライフステージを見通すことが出来ます。
- ⑥必要なページだけを取り外すことにより、必要な情報だけを相手へ提示できます。



※詳しくは、下記連絡先までお問い合わせください。

◎問い合わせ先 神埼市教育委員会 学校教育課 ☎44-2384

神崎市『教育の日(11月1日)』記念式典・講演会

教育に対する市民の関心と理解を深め、神崎市の教育の充実と発展を図るとともに、郷土を愛し、地域社会の振興に主体的に取り組む人づくりを期して神崎市教育の日を設けています。

○とき	11月1日(木)(受付13:00～) 13:30～16:30
○ところ	神崎市中央公民館 大ホール
○内容	記念式典 13:30～14:10 記念講演 14:25～16:30
○記念講演	講師 作家 曾野 綾子 先生 演題 『人間を創るもの』

講師紹介

作家 ^{その}曾野 ^{あやこ}綾子 先生
日本芸術院会員・文化功労者

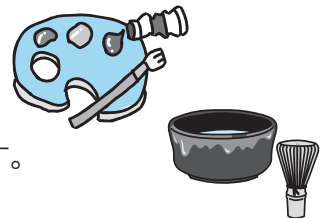


記念講演の他に、記念式典の中では神崎市の教育に対しての「教育功労者・団体と教育協力者・団体」の表彰も行います。入場は無料です。市民の皆さまのご参加をお待ちしています。

◎問い合わせ先 神崎市教育委員会 学校教育課 ☎44-2384



神崎市文化祭



神崎市文化連盟では、恒例の文化祭を支部ごとに開催します。多くの方のご来場をお待ちしています。

★第27回神崎町文化祭(神崎支部)

日程	内容	ところ
10月27日(土)	会員作品搬入(午前中)	神崎市中央公民館
10月28日(日)～11月4日(日)	文化祭作品展示 9:00～17:00(4日は16:30まで)	
11月3日(土)	第10回美しい日本語暗唱大会 8:30～12:30 神崎市文化連盟主催 映画鑑賞会 昼の部・夜の部	
11月4日(日)	ステージ公演 9:30～ 記念式典 11:30～12:30 最後に抽選会 作品搬出 16:30～19:00	

◎問い合わせ先 神崎市中央公民館 ☎53-2325 ※都合により日程、時間等変更になる場合があります

★第27回脊振森林の里文化フェスティバル(脊振支部)

日程	内容	ところ
11月2日(金)	会場設営 9:00～	脊振勤労者体育館 ほか
11月3日(土)	作品搬入、リハーサル 9:00～17:00	
11月4日(日)	記念式典 9:00～(午前) ステージ公演(午後)特別公演	

◎問い合わせ先 脊振公民館 ☎59-2131 ※都合により日程、時間等変更になる場合があります

★第33回千代田町文化祭(千代田支部)

日程	内容	ところ
10月25日(木)	作品搬入9:00～17:00 ※生花は除く	千代田町保健センター
10月26日(金)～28日(日)	文化祭作品展示9:00～17:00(28日は15:00まで)	
10月27日(土)	文化公演 13:00開場 13:30開演	千代田文化会館 「はんぎーホール」
10月28日(日)	婦人会バザー 8:00～	千代田町福祉センター
	開会式 9:00～ ステージ公演	千代田文化会館 「はんぎーホール」

◎問い合わせ先 神崎市教育委員会 社会教育課 ☎44-2731 ※都合により日程、時間等変更になる場合があります

神埼の歴史散歩

市役所が「神埼まちあるき」として毎月実施している歴史や自然の現地体験学習会に同行取材し、「神埼の歴史散歩」と題して連載しています。

伝説が息づく鳥羽院の巻

脊振町の北西部、県道51号線から車で西へ10分ほど入った辺りに、伝説の舞台、鳥羽院(とばいん)地区があります。ここは、鎌倉時代に院政を行い、承久の乱で幕府軍に敗れた後鳥羽上皇が、隠岐島に流刑になった後、歴史上では隠岐島で亡くなったとされていますが、密かに隠岐を脱け出し、辿(たどり)り着いたとされる場所です。



後鳥羽神社を散策する参加者

稗粥地蔵と後鳥羽上皇

【昔、山里に都人らしい旅人の一行が辿りついた。一軒の家を見つ



稗粥地蔵



かばかり身の温まる草の名をいかでか人は稗というらむ

後鳥羽上皇

旧脊振小学校鳥羽院分校跡、現在の鳥羽院山荘の玄關脇の湧水は「鳥羽院の湧水」として有名です。清らかな脊振の水で炊いた稗粥は、疲れ果てた後鳥羽上皇にはどんな味がしたのでしょうか。

稗粥地蔵から坂を下って少し

歩くと、善信寺が見えてきます。石段を登った高台の本堂を、後鳥羽上皇は行宮(仮の宮)としました。元禄2年に奉納された「鳥羽院王宮」の扁額(へんがく)や、上皇の直筆の書と伝えられるものがあつたようですが、残念ながら大正14年の火災で焼

失。中世屈指の歌人であり、武道にも精通した才能豊かなマルチタレント後鳥羽上皇は、この地でどんな余生を過ごしたのか、垣間見るものは残っていません。史実によると、上皇は延応元年(1239)2月22日に崩御。善信寺の裏山、現在は鳥羽院公園として整備された場所に、上皇の御陵があります。ここで大正元年、石棺が発見されました。内部には2片の人骨が残され、蓋(ふた)には「後鳥羽上皇を埋葬した」旨が墨で書かれていたそうです。当時、宮内庁にも報告され調査されましたが、結論は出ていません。

上皇が祀られた後鳥羽神社の境内には大きな銀杏の木があります。神社の脇を流れる清流と澄んだ空気を吸ったこの木は、秋深まるころ、美しく色づきます。山深い鳥羽院の四季を感じながら、上皇は筆をとったのでしょうか。

孝行娘の伝説「絹巻の里」

鳥羽院にはもう一つ、忘れてはいけない伝説が語り継がれています。

【昔、山里に父と娘が住んでいた。後妻を迎えたが、継母は絹糸巻を背中に結び付けて娘を追い出した。娘は途方に暮れ、あてもなく歩くうちに一軒の家を見つけました。中では女が絹を織っており、事情を話すと、ここで暮らすよう招き入れた。それから娘はいつも絹を織って過ごした。数年後、家に戻った娘はお礼のため



絹巻観音のお堂

父と共にその家を訪ねたが、ここに家は無く、白絹が積み重ねられていた。その後、娘と継母は分かれ合い、一家は非常に裕福になった。それから観音様を祀り、絹巻の板を後光になぞらえ絹巻観音と崇(あが)めた。

昔、養蚕が行われていたこの地に、竹藪(やぶ)で身を隠すようにひっそりと、絹巻観音のお堂があります。江戸時代、親孝行の観音様として参拝者が急増したそうです。

人に優しく接する、快く受け入れる「絹巻の里」の精神が、後鳥羽上皇の伝説につながったのかもしれない。

問い合わせ先

神埼市役所 政策推進室
371-0102

※詳しくは
神埼市デジタルミュージアム
「かんざき@NAVI」をご覧ください

地域おこし研究会・勉強会だより

◎尾崎焼研究会

8月29日に尾崎西分公民館にて研究会が開催されました。

研究会の代表は、区長の原さんが就任され、当日は、地区の古老の方から尾崎焼に関するお話を直接お聞きし、今は一軒も残っていない戦後の尾崎焼の窯元の場所・窯の構造や焼物に用いた粘土の採集地、採集方法、採集道具などのお話を聞くことができました。

今回は、さらに多くのお年寄りに参加いただいて話を聞かせていただく予定です。また、近隣の窯元見学や九州陶磁文化館などでの研修も計画されています。



◎神崎荘と平氏勉強会

第4回の勉強会を8月18日に行いました。

今回は、これまで調べた弥生時代から中世にかけての有明海の海岸線の推定復元を行いました。特に神崎荘があった時代の海岸線と港（津）を再確認しました。

今回は、現地での聞き取り調査を行う計画です。

神崎塾専門講座

『古文書講座 基礎編』を開講します

神崎塾講座は、市民のみなさまに神崎の歴史や自然を知り・学ぶ場を提供し、まちづくりを担う人を育てることを目的として開催しています。

専門講座として古文書が読める人材を育てるため、11月から『古文書講座 基礎編』を下記の日程で開催します。

受講を希望される方は、神崎市役所政策推進室へお申し込みください。

◎定員 40人（先着順で、定員になり次第、締切とします）

◎申込締切 10月31日（水）まで

◎受講料等 無料（講座で必要となる辞書等は各自実費で購入となります）



▼専門講座「古文書講座 基礎編」日程

回数	講座名	講師	日時	場所
1回	古文書講座 基礎編 1	佐賀県立博物館 浦川和也 氏	11月10日（土）13:30～	神崎市中央公民館 第2研修室
2回	古文書講座 基礎編 2		12月15日（土）13:30～	
3回	古文書講座 基礎編 3	佐賀県立博物館 藤井祐介 氏	1月12日（土）13:30～	
4回	古文書講座 基礎編 4		2月16日（土）13:30～	
5回	古文書講座 基礎編 5		3月16日（土）13:30～	

第5回現地体験学習会のご案内

『尾崎地区 蒙古屋敷と大蛇伝説の里を訪ねる』

日の隈公園～台場屋敷～岩田丸山古墳～冠者神社～蒙古屋敷跡～蛇塚・蛇貫堤～花手～伏部～野寄～柏原～日の隈公園のコースで、約8kmを徒歩で廻ります。

◎日時 10月28日（日） 受付9:00～ 9:30～12:30（予定）

・雨天のときは、11月4日（日）に順延となります。

◎集合場所 日の隈公園 駐車場（各自でご集合ください）

◎注意事項
・全コース 徒歩による見学です。
・長時間歩くことのできる靴と服装でご参加ください。
・飲物、帽子、雨具などをご準備ください。

◎参加申込 10月22日（月）までに、神崎市役所政策推進室までお申し込みください。



▲蛇塚